

留学報告書 II (2025 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾高等学校 2 年
留学先校名	Shrewsbury school
留学期間	2025 年 9 月から 2026 年 6 月まで

留学を振り返って

留学に行く前に期待していたこと、心配していたことはありましたか。実際に行ってどのように変わりましたか。

言語の心配はしていました。日本で勉強した文法などとは違ったコミュニケーション手段としての英語に少し苦手意識を持っていました。実際に留学に行ってすぐの時は、友達の会話を聞きとり、リズムよく会話を弾ませるのにとっても苦労しました。友達といっぱいお話をしたいという気持ちはあるのに、言葉が出てこないというもどかしさも感じていました。しかし、2 カ月後くらいには、だいぶ聞き取れるようになり、徐々にですが楽しい会話もできるようになりました。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

- 1, 2 学期は Foot ball を、3 学期には Rec Rowing という Rowing を初めて体験する生徒を主としたスポーツをしていました。Foot ball は特にたくさんの思い出ができました。毎週のように試合に出向き、チームのみんなと絆を深めました。ある練習試合ではキャプテンを任せられて、ポジションの支持などチームのリーダーになれるよう奮闘しました。イギリス人のように上手な英語を話すことができませんでしたが、その時感じたのは、リーダーに必要なのは言葉をうまくしゃべる能力でなく、自信をもって発言することだと感じました。
- 2, 毎週木曜日に Severn dale という障害の持った子が通う学校にボランティア活動をしに行きました。最初は彼らのことが理解できず、恐怖心を抱いたりしましたが、彼らと 8 カ月間、一緒に勉強したり、ピクニックに行ったりして、徐々に彼らと親しみを感じました。異国の地イギリスで様々な命の存在の仕方があることを理解したことは大きな経験でした。

ルームメイトはどのような方でしたか？(1 人部屋だった場合は、同じ寮の友人について教えてください。)

毎学期ごとにルームメイトが変わり、1 学期はイギリス人の友達がルームメイトでした。彼はヨークシャー出身で、彼の地元のことについていろいろ教えてくれました。2 学期は中国人の友達がルームメイトで共通の話題も多く、夜までお話したこともあって、楽しい思い出ができました。3 学期はアイルランド出身の友達で、とても話しやすい気さくな性格で、とても楽しい時間を共に過ごしました。また、彼はローイングのスカラールをとっていたため朝早く起きてトレーニングに励む日もあり、彼のローイングに対する姿勢にはとても感心しました。

勉強の進め方や進学や将来について、アドバイザーや学校の先生と話す機会がありましたか。どのようなアドバイスをいただきましたか。

週に一度 Tutor Period という時間があり、担当の先生と学業の調子や今後の将来のことについてお話しする時間がありました。当時は化学と物理で、専門用語がわからなくて苦しんでいたこともあり、先生から専門用語を特集したフラッシュカードを作ると良いとアドバイスを受け、それを実践したところだいぶ改善しました。また 1 学期は英語にも自信がなかったため (EAL : English as an additional language) という追加のレッスンもっていました。そこでは授業で分からなかった英語の質問ができて、効率で気に学習を進められたと考えます。

短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

短期、長期休暇は基本的にホストファミリーの家に滞在しました。ガーディアン会社の人と話してどこの町に滞在するかを決めることができ、僕はできる限り、色々な場所に旅行を試みたかったので、長い休みごとにガーディアンと話して、泊まる場所を調整していただきました。また、2 回ほど友達の家にも泊まりに行ったことがあり、とても楽しい思い出ができました。特に、友達の家に泊まることもあり得るので日本からの手土産などを持っていけると良いかと思います。

学業について

**各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。
授業の進め方で特に興味深いものがあれば、具体的に教えてください。**

授業は小人数形式で行われていました。一クラス多くて15人くらいで、とても先生と生徒との活発なコミュニケーションがありました。また、化学の試験では実験の方法を聞いている問題が多く、あまり日本では見たことがない形式であったので驚きました。授業ではトピックが終わり次第トピックテストがあり、それに向けて勉強をすることで、習ったことが身につきました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

塾内選考前にどのような準備をしていましたか。

選考前には、自分が慶應と留学先の高校にいかにして貢献できるかを考えました。また、福沢先生のことなども本などを通じて知り、どのようにしたら彼のように深い学びが海外で得られるのかを具体的に考えました。また、英語の勉強では TOEFL の勉強に励みました。単語に苦しんだ時期もあり、暗記も徹底して行いました。

渡航前に日本で学習しておいた方がよいことや、用意しておいた方がよいことがあれば教えてください。

Lower 6 から留学予定の場合は、選択科目の GCSE という、本来生徒が 5th form の時に受けるテストを解いてみて、知らない単元を学習しておく、渡航後にスムーズに授業についていけるとと思います。

以上

